

I. 平成30年度の取組みの実績

グループ名称	南九州優良住宅推進協議会				
H30採択グループ番号	07	—	0642	—	0782

A H30年度にグループとして力を入れた取組み

内容	平成30年度はより良い住宅をより多くのお客様に提供することに力を入れて取り組みました。特に特定の高性能住宅について未経験の工務店に積極的に参加してもらうことでグループの施工構成員の技術力アップに取り組んできました。設計から施工、建材メーカーや流通業者が意見交換をすることにより住まわれる方が満足できる住宅づくりをしてきました。また、事務局が開催するイベント(プレカット工場見学会)では一般のお客様にご来場いただくことで安心の木造住宅づくりをアピールしました。
----	---

B 各種説明会・研修会の実施について

① 事業	事業実施説明会	有	開催日	2018/08/28	名称	平成30年度8月定例会及び懇親会	●		
	内容	平成30年度の採択結果を報告し適用申請書に基づき、グループが作る住宅仕様の説明をしました。そのあとにグループ内の情報交換と親睦を兼ねて懇親会を行いました。							
② 消費者	消費者説明会 1	有	開催日	2018/04/22	名称	住まいのなっとく工場見学会	●		
	内容	毎年4月に事務局である国南木材で消費者の方々向けのイベントを行っています。プレカット工場を実際に見て頂くことで木や木造住宅の良さに触れて頂き、安心感をもっていただくことを目的としています。							
	消費者説明会 2		開催日		名称				
	内容								
③ 工務店	工務店研修会 1	有	開催日	2018/10/20	名称	健康省エネシンポジウム	タイプ	座学	●
	工務店研修会 2		開催日		名称		タイプ		
	工務店研修会 3		開催日		名称		タイプ		
	工務店研修会 4		開催日		名称		タイプ		
	工務店研修会 5		開催日		名称		タイプ		

C 未経験工務店へのサポートの実施について

取組み ①	サポートの有無 1	有		
	内容	初めてグリーン化事業を利用する施工者に対しては事務局の担当者がサポートをして申請書類の作成を行っています。また、長期優良住宅等の経験がない施工者に対してはグループ構成員の設計事務所を紹介することでサポートをしています。		
取組み ②	サポートの有無 2			
	内容			
取組み ③	サポートの有無 3			
	内容			

D 住宅履歴情報の蓄積について

① 履歴情報預り証の発行件数	発行済	0	発行予定	0
② 住宅履歴情報の保管先	自社	機関名		

E 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制	有	
内容	協議会事務局が代わりに点検・管理を履行できる施工構成員を斡旋します。	
② H30年度における施工構成員の廃業	無	
対応内容		

F 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化に対する取組 ①	有	
内容	省エネ技術講習会への参加を促しています。県内の講習会日程は施工構成員にむけて情報を配信しています。	
省エネ化に対する取組 ②		
内容		
BELS工務店の登録数	5 社	

I. 平成31年度の取組みの計画

(1) グループの信頼性と技術力の向上に向けた取組みの計画

グループ名称	南九州優良住宅推進協議会				
H30採択グループ番号	07	—	0642	—	0782

A 各種説明会・研修会の実施について

① 事業	事業実施説明会	有	開催日	2019/07/18	名称	平成31年度地域型住宅グリーン化事業報告会と仕様説明会		
	内容	平成31年度地域型住宅グリーン化事業の採択報告と仕様の住宅仕様の説明を行います。報告会では配分枠の振り分けも行う予定です。						
② 消費者	消費者説明会 1	有	開催日	2020/04/19	名称	住まいのなっとく工場見学会		
	内容	図南木材で消費者の方々向けのイベントを行います。プレカット工場を実際に見て頂くことで木や木造住宅の良さに触れて頂き、安心感をもっていただくことを目的としています。						
	消費者説明会 2		開催日		名称			
	内容							
③ 工務店	工務店研修会 1	有	開催日	2019/09/26	名称	高性能住宅セミナー	タイプ	座学
	工務店研修会 2	有	開催日	2019/05/21	名称	グラスウール施工の研修	タイプ	座学
	工務店研修会 3	有	開催日	2019/09/06	名称	現場研修会	タイプ	見学会
	工務店研修会 4		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 5		開催日		名称		タイプ	

B 未経験工務店へのサポートの実施について

取組み①	サポートの有無 1	有						
	内容	未経験工務店がお客様に提案できる土台を作り、営業活動等に役立てて頂きます。断熱材やサッシの仕様選定などはヒアリングを行い、必要に応じてグループ構成員の設計事務所等にサポートを依頼します。						
取組み②	サポートの有無 2							
	内容							
取組み③	サポートの有無 3							
	内容							

C 住宅履歴情報の蓄積について

住宅履歴情報の保管先	自社	機関名	
------------	----	-----	--

D 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制	有						
内容	協議会事務局が代わりに点検・管理を履行できる施工構成員を斡旋します。						

E 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化に対する取組み (新築)	有						
内容	平成31年度に実施される講習会等について情報を共有し、受講を促します。						
省エネ化に対する取組み (改修)	有						
内容	省エネ改修の補助対象となるBEI1.1を取得するフローを作成し、施工構成員に公開します。						

F 省エネ改修に関する研修の計画

研修計画 ①	有	実施日	2019/10/24				
内容	省エネ改修型の要件であるBEI1.1を取得するための手順についての研修を行います。						
研修計画 ②		実施日					
内容							

Ⅱ. 平成31年度の取組みの計画

(2) 地域型住宅及び生産体制の整備に関する計画

グループ名称	南九州優良住宅推進協議会				
H30採択グループ番号	07	—	0642	—	0782

A 提案する地域型住宅の特徴

内容	列島最南端に位置し、比較的温暖な地域ではあるが冬場は降雪もあり年間を通じて寒暖差が激しい気候です。そのため省エネ・高断熱性能を重視して、断熱性能等級は4以上とします。 また、台風の影響を強く受ける地域であり風水害も少なくありません。将来的には火山性の地震や南海トラフ大地震も想定した耐震性への配慮が必要と考え、耐震性能も重視した住宅を作っています。
----	---

B 地域材の利用に関する共通ルール

①-1 1棟当たりの主要構造材地域材の使用割合	50%未満		50%以上	■	80%以上	
①-2 地域材の使用部位	② 地域材の利用に関する補足説明					
主要構造材	土台	有	シロアリへの対策として、土台はK3相当以上の防腐防蟻処理材または特定D1樹種(ベイヒバ・ヒノキ)を使用しています。			
	柱	有				
	梁・桁等の横架材等	有				
羽柄材	間柱、根太、垂木等	無				
造作材	枠材、廻縁等	無				
板材	壁板、床板等	無				

C 生産体制の整備と生産性向上に向けた取組み

① 地域材の調達共同化に向けた取組み	有	
内容	木材流通業者が施工者に対して物件情報のヒアリングを行い、必要在庫の確保に努めます。	
② 建材・特定資材の調達共同化に向けた取組み	有	
内容	建材流通業者が中心となり、建材・住器等の資材メーカーに対して価格の交渉をします。	
③ 地域材・建材・資材の在庫供給情報の共有化	有	
内容	木材・建材流通業者が市場の状況を把握し、各種材料を確保するとともに、物不足が見込まれる際は施工構成員に対して迅速に情報提供を行います。	
④ 施工に関する統一ルール	有	
内容	瑕疵担保責任保険の施工基準ののっとり施工を行います。また、省エネ技術講習会には施工構成員は必ず社員1人以上の受講をすることとします。	
⑤ 住宅のメンテナンスに関する統一ルール	無	
内容		
⑥ 施工検査(瑕疵担保責任保険の検査以外)	無	
内容		
⑦ 見積りに関する統一ルール	無	
内容		
⑧ その他の共通ルール	無	
内容		

D 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備に対する取組み

① 週休2日制の導入の取組	有	内容	施工事業者に向けて週休2日制をとれるような工程管理を推進します。
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	有	内容	勉強会や意見交換会などを通じて今後の取り組みについて議論します。
③ 社会保険への加入	有	内容	施工事業者の社会保険加入状況を確認し全社加入を推進します。
④ 建設工事従事者の安全及び健康の確保のための取組	有	内容	現場作業者の健康、安全に関する案内資料やパンフレットを配信・配布します。

Ⅱ. 平成31年度の取組みの計画

(3) 地域の産業・住文化・景観等に関連する計画

グループ名称	南九州優良住宅推進協議会				
H30採択グループ番号	07	—	0642	—	0782

A 地域の産業・住文化・景観等、和の住まいの取組みに関する対応

① 畳の活用	無	内容	
② 和瓦の活用	無	内容	
③ 襖・障子の活用	無	内容	
④ 地域の伝統的素材の活用	無	内容	

B 地域の住文化に関する取組み

① 地域の伝統的なデザインの継承	有	内容	和室の造作材には国産の桧や杉の活用を推奨しています。
② 地域の住まい方の継承	無	内容	
③ 地域の街並み形成への配慮	無	内容	

C 被災地の復興に資する取組み

① 東日本大震災・平成28年熊本地震・平成30年7月豪雨・平成30年北海道胆振東部地震の復興に資する取組み
協議会事務局が毎年開催するイベントで来場者の方々から募金を募るとともに、イベントで販売した商品の売り上げの一部を豪雨や地震の災害地に寄付しています。
② 地域型住宅の供給地域において災害等が発生した場合に検討している取組み
施工事業者と協力し、私たちにできる最大限の地域貢献をします。具体的には仮設住宅の建設や重機ボランティア等です。